

## 競技注意事項

本大会は、2019年度 公益財団法人日本陸上競技連盟規則及び本大会実施規則を適用する。

なお、競技規則第162条5「スタートにおける警告」に関する2018年度改正ルールは適用せず、注意にとどめる。

### ◎ 実施規則

1 トラック競技のレーン順及びフィールド競技の試技順はプログラム記載順とする。決勝のレーン順は主催者が抽選して決定する。

2 招集は、次の通り行う。

○ 招集所は競技場正面玄関横に設ける。

	招集開始時間	招集完了時間
トラック競技	競技開始30分前	競技開始15分前
フィールド競技	競技開始60分前	競技開始30分前

○ 招集を受けなければ、理由の如何にかかわらず出場を認めない。

○ リレーの場合は、招集完了時刻の1時間前までにオーダーを招集所に提出すること。ただし、これだけでは招集を受けたことにはならないので、改めて上記時間までに招集を受けること。

3 走高跳及び棒高跳におけるバーの上げ方は次のようにする。(ただし、天候と会場の状態により考慮する。)

走高跳 (男子) (150) 155-160-165-170-173-以後3cm

〃 (女子) (130) 135-140-145-148-151-以後3cm

棒高跳 (男子) (220) 220-240-260-270-280-以後10cm ※ ( )内は練習の高さ、高位の練習も実施する。

4 走幅跳は、次の計測ラインを設け、それ以下は計測しない。ただし、天候により変更することもある。

(男子) 5m40cm (女子) 4m30cm

5 三段跳の踏切板の位置は9mと11mを準備するが、場合により12mも準備する。

6 抗議は、正式発表後、直ちに各地区専門部長を通じて審判長に申し出ること。

7 男子棒高跳は奨励種目であるので、得点より除く。

8 引率・監督は、出場校の校長・教員、部活動指導員、コーチについては出場校の教育職員とする。ただし、教育職員以外のコーチは、校長が認め、県中体連に登録し承認を受けた者とする。

9 全天候舗装型の競技場であるので、使用するスパイクのピンの長さは9mm以下とする。(ただし、走高跳は12mm以下)

10 ナンバーカードは、学校または個人番号で、B5の大きさの白布に、男子黒字、女子赤字で胸背部につける。

11 リレー走者は全員同一ユニフォーム(上衣)を着用すること。

12 原則として大会参加者は開会式、閉会式に参加すること。

13 トラック競技でタイムにより次のラウンドの出場者を決めるときに同記録者があるときは、写真判定主任が写真を拡大(1/1000秒以上の差が認められた場合)して進出者を決める。それでも決められないときは、同記録者が抽選をして進出者を決定する。(競技規則167条-2を適用)

### ◎ 九州大会の出場について

(1) 各種目、上位2名(チーム)が九州大会の参加資格を得るとともに、九州大会参加の義務を負う。

### ◎ 全国大会の出場について

本大会で全国標準記録を突破した者は、第46回全日本中学校陸上競技選手権大会への参加資格を得るので、出場意志の有無を申し出ること。(追風参考記録は対象にならない。)